在庫リミット計算

STEP1 : 仕入先名と仕入先工場名の指定

プルダウンボタン（「v」マーク）をクリックし、表示されるリストから対象の”仕入先名\_仕入先工場名\_前工程コード\_前工程工場コード”を選択してください。もしくは、入力ボックスに直接情報を入力して選択してください。選択が完了したら、「登録する」ボタンを押して条件を登録してください。

STEP2 : 品番の指定

プルダウンボタン（「v」マーク）をクリックし、表示されるリスト（STEP1で選択した仕入先の品番になっているはずです）から対象の品番を選択してください。もしくは、入力ボックスに直接情報を入力して選択してください。選択が完了したら、「登録する」ボタンを押して条件を登録してください。

STEP3 : 時刻の指定

日付ボックスをクリックし、表示されるカレンダーから対象日付を選択してください。次に、日時ボックスをクリックして、表示されるリストから対象日時を選択してください。なお、日付選択、日時選択は共に直接情報を入力して指定することも可能です。日付と日時の選択が完了したら、「登録する」ボタンを押して条件を登録してください。

STEP4 : 在庫数の指定

在庫数ボックスをクリックして、表示されるリストから在庫数を選択してください。もしくは、入力ボックスに直接情報を入力して選択してください。在庫数ボックスは箱換算と部品換算の2つのボックスが存在します。シミュレーションの結果は、箱換算のみ、部品換算のみ、箱+部品換算の3パターンで計算されますので、必要に応じて情報を入力ください。

STEP5 : 需要調整

需要モードを選択してください。以下の3つが存在します。

・日量を採用する　ー　最新の日量を活用してリミット計算を実行します

・日量MAXを採用する　ー　当月月末までの最大日量を活用してリミット計算を実行します。

・任意日量を採用する　ー　ユーザー入力の任意の日量を活用してリミット計算を実行します。本モードを使用する際は、値を入力した後、「登録する」ボタンを押してください。

結果の確認

結果では、大きく3つの情報を確認できます。まず画面上部には、品名や収容数などの品番情報が表示されます。選択した品番に間違いがないか、選択した品番の詳細情報を確認できます。次に、画面中央部には在庫シミュレーションの結果が表示されます。この結果は、箱換算、部品換算、箱＋部品換算の3つの結果が存在し、タブで切り替えてそれぞれの結果を確認できます。最後に、画面下部に表示される表では、在庫シミュレーションで計算された在庫数の増減や計算の根拠を確認できます。どのように在庫が変化したか、どの項目が影響したのかが一目で分かります。なお、在庫数の値は小数点以下を切り上げた整数で表示しています。

在庫予測

STEP1 :

日付ボックスをクリックし、表示されるカレンダーから対象日付を選択してください。次に、日時ボックスをクリックして、表示されるリストから対象日時を選択ください。なお、日付選択、日時選択は共に直接情報を入力して指定することも可能です。日付と日時の選択が完了したら、「登録する」ボタンを押して条件を登録してください。

結果の確認

欠品予定、下限割れ予定、上限越え予定の3つの判定結果を確認できます。デフォルトは欠品予定品番のみ表示されますので、必要に応じて、表左上のフィルターを操作して結果を確認ください。以下の情報を確認することができます。

在庫異常分析

異常の確認

ここではある時点の在庫異常（上限越えと下限割れ）の結果を確認できます。このステップは任意のため実行しなくとも、次のステップに進むことができます。使用する場合は、まず日付ボックスをクリックし、表示されるカレンダーから対象日付を選択してください。次に、日時ボックスをクリックして、表示されるリストから対象日時を選択してください。なお、日付選択、日時選択は共に直接情報を入力して指定することも可能です。日付と日時の選択が完了したら、「登録する」ボタンを押して条件を登録してください。

異常の確認結果

登録日時時点の在庫異常（上限越えと下限割れ）の結果が表形式で表示されます。左に下限割れ、右にに上限越えの結果が表示されます。連続時間列は異常の連続時間を表しています。

STEP0